

福祉関係団体アンケート結果

1. 団体の概要、活動内容等についておたずねします。

① 団体の活動目的、最近の活動状況 ※活動内容等を簡略に記入してください。

【長生・山武自閉症協会】

- ・ 長生・山武地域の自閉症児・者の親の会です。2～3か月に1回定例会を開き、親睦を深め、支え合い、イベント等への参加を通して地域社会への啓もう活動を行っています。

【山武郡市精神障害者家族会のぞみ会】

- ・ 「誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らすことのできる社会づくり」
情報交換と収集、勉強会、家族交流会
「新型コロナウイルス」のための定例会3月より中止しています。他の会議も中止。
(毎月第3水曜日、定例会実施。ケアシステム構築会議に参加し要望、希望を話し合い)

【大網白里市身体障害者福祉会】

- ・ 身体障害のある方を会員として活動。
県等主催のグラウンドゴルフ大会、キャンプ訓練、山武郡市でのスポーツ・レクリエーション大会市福祉会、カラオケ同好会

② 構成員の状況（令和2年4月1日現在）

団体名	構成員	構成員の平均年齢
長生・山武自閉症協会	30 家族	50 歳くらい
山武郡市精神障害者家族会のぞみ会	40 人	75 歳くらい
大網白里市身体障害者福祉会	40 人	68 歳くらい

③ おおよそ5年前に比べ、構成員の人数に変化はありましたか。

(あてはまるもの1つに○)

項目	回答数
1. 大幅に増えた	-
2. やや増えた	1
3. ほとんど変わらない	1
4. やや減った	-
5. 大幅に減った	1

④現在の活動上の課題（あてはまるものすべてに○）

項目	回答数
1. 時間的な負担が大きい	1
2. 体力的な負担が大きい	2
3. 新規メンバーの加入が少ない	3
4. メンバーに世代などの偏りがある	3
5. メンバーが仕事・家事などで忙しい	1
6. 役員のなり手がいない	1
7. 活動メンバーの専門性が不足している	1
8. 活動に必要な情報が集まらない	1
9. 情報発信する場や機会が乏しい	-
10. 障がい者のニーズに合った活動ができていない	1
11. 他の団体と交流する機会が乏しい	2
12. 会議や活動の場所の確保が難しい	-
13. 財源の確保が難しい	-
14. 活動がマンネリ化している	1
15. 行政との連携が取りにくい	-
16. 社会福祉協議会との連携が取りにくい	1
17. 自治会との連携が取りにくい	-
18. 特にない	-

その他活動上の問題

- ・ 会員の高齢化となり、若いメンバーが少ない。

問 ふだんの活動を通じて感じておられる地域の課題にはどのようなことがありますか。
（主なもの3つまで）

項目	回答数
1. 障がいへの理解が足りない	2
2. 障がいのある人とない人が交流する場が少ない	1
3. 近くに福祉サービスを受けられる場所がない	1
4. 障がいのある人が働くことができる場所が少ない	1
5. 教育の機会が等しく与えられていない	1
6. 交通機関や建物が障がい者の利用に配慮されていない	1
7. 障がいのある人の災害時に対する対策がとられていない	2
8. 障がい福祉の情報が行き渡っていない	2
9. その他	-

問 貴団体が障がいのある人本人や家族から受ける相談はどのようなものがありますか。
 (主なもの3つまで)

項目	回答数
1. 健康・治療のこと	2
2. 経済や生活費のこと	2
3. 介助・介護のこと	-
4. 家事・炊事・掃除・洗濯のこと	-
5. 住まいのこと	-
6. 外出・移動のこと	2
7. 就学・進学のこと	1
8. 仕事や就職のこと	2
9. 防犯・災害時のこと	2
10. 話し相手がないこと	1
11. 家族のこと	1
12. 異性・恋愛・結婚のこと	-
13. 人間関係のこと	2
14. 行政手続き・福祉サービスのこと	2
15. その他	1
16. 相談を受けることはほとんどない	-

15. その他

- ・ 上記の相談ほとんどあり、特に1、2

問 障がいのある人への市民の理解を深めるためには、何が重要だと考えますか。
 (主なもの3つまで)

項目	回答数
1. 学校での福祉人権教育を充実する	2
2. インクルーシブ教育を拡充する	1
3. 障がいのある人もない人も共に参加するイベントを開催する	-
4. 障がいに関する講演会や学習会などを開催する	2
5. 企業が積極的に福祉活動に携わる	2
6. 市の広報紙等で障がいや障がいのある人への理解を呼びかける	-
7. 障がいのある人が積極的に社会に進出する	-
8. わからない	-
9. その他	-
10. 理解を深める必要はない	-

問 障がいのある人が働くためには、どのような環境が整っていることが大切だと思いますか。(主なもの3つまで)

項目	回答数
1. 自宅近くに働く場があること	1
2. 健康状態にあわせた働き方ができること	1
3. 障がいのある人に適した仕事が提供されること	2
4. 就労の場をあっせんしたり、相談できる場が整っていること	1
5. 職業訓練など、技能・知識の習得を援助する施設が充実していること	-
6. 事業主や職場の人たちが、障がい者雇用について十分理解していること	2
7. 民間企業が積極的に雇用できるよう助成制度などが充実していること	-
8. 職場の施設や設備が障がいのある人にも利用できるように配慮されていること	1
9. 職場へ通う手段（公共交通機関・送迎バス）や通勤費補助があること	2
10. 介助者と一緒に働けること	-
11. 同じような障がいのある仲間と一緒に働けること	1
12. ショブコーチ（職場適応援助者）など職場に慣れるまで援助してくれる制度があること	2
13. その他	1
14. わからない	-

13. その他

- ・ 精神障害者の方は外見上健康に見える様ですが、心のこと脳の事など理解して頂きたい。長時間集中する事が厳しい面があります。本人の体調にあわせ、休憩を入れてほしい。

2. 障がいのある人へのサービス提供についておたずねします。

問 日頃、どのようなサービスを利用していますか、また、今のサービスに満足していますか。会員等が利用されている主なサービスを記入してください。

利用しているサービス	満足している点	不満な点
B型事業所	本人が満足している →送迎がある	工賃が安い、就労した時と仕事内容が違う
生活介護	生活のリズムができ、決まったスケジュールで本人が安心して過ごせる	特にないが、年に1回くらい個別で簡単な面談があるともっとよい
短期入所	本人に合わせた工夫のおかげで時間の流れがわかり、不安なく過ごせている	泊まるので現状厳しいと思うが、利用中は担当者が決まっているとよい
B型事業所	通える場所があること	訓練とはいえ、支給されるお金の低さ。精神の場合、他の障害の方とはなかなか困難である。精神の作業所あればよい

問 今後どのようなサービスを利用したいですか。主に利用したいサービスとその理由を記入してください。

今後、利用したいサービス	理由
移動支援	・親と一緒になくても外出できる体験をさせたい
生活介護	・慣れた所で安心して過ごせる日中の居場所として ・継続し、本人と職員の両方が慣れることで、親が面倒を見られなくなった時に安心
短期入所	・継続し、本人と職員の両方が慣れることで、親が面倒を見られなくなった時に安心
グループホーム	・親が古い、対応できなくなるため ・親亡き後の住む場として ・親の方が一に備えてグループホームの体験をさせたい
訪問看護	・親が古い、対応できなくなるため ・一人暮らしをしている場合、薬の面などの管理が助かります。 ・精神の場合、外に出られなくなる場合あり、病院など行けない時など訪問看護に対応して頂きたい

3. 市の障がい福祉施策についておたずねします。

問 これからの市の障がい福祉では何が必要だと思えますか。必要だと思う内容に○をつけてください。(主なもの3つまで)

項目	回答数
1. 一人ひとりの障がいに合った支援を受けられるようにする	2
2. 障がいのある人に対するまわりの人の理解を深める	1
3. ホームヘルプサービスなどの在宅サービスを充実する	1
4. 障がいのある人が地域で生活するために必要な体制を整える	2
5. 通所による生活介護などのサービスを充実する	-
6. 働く所を増やす	1
7. リハビリ訓練の場所を増やす	1
8. 外出しやすい環境や交通機関の利便を図る	1
9. ガイドヘルパーの養成や福祉タクシー、リフト付タクシーなどの移動手段への支援対策を充実する	2
10. グループホームなどを増やす	-
11. いつでも何でも相談できる窓口を用意する	1
12. 同じ悩みなどを持つ方が話し合ったり、交流する場を確保する	-
13. 障がいのある人とない人が交流する場を増やす	-
14. スポーツ・レクリエーション・文化活動に対する援助をする	-
15. 財産の管理・運用や契約などに必要な支援を受けられるようにする	-
16. 点字、手話などによる情報提供を充実する	-
17. 各種サービスや制度、医療機関などの情報提供を充実する	-
18. 災害時の避難情報や避難所における配慮を充実する	-
19. 消費者トラブルの防止や被害からの救済支援をする	1
20. その他	1
21. 特にない	-

13. その他

- ・ 主なもの3つと書かれているが、障害をかかえていて、地域で生活していくうえでサポートして頂きたいことあり、3つでは○が少ないです。

問 障がい福祉全般について、ご意見等があればご記入ください。

- ・ 障害（精神）の場合、地域の方々は、理解が乏しいので、研修などを地域むけに沢山してほしい
- ・ 働く場を増やしてほしい
- ・ 精神の病状や早期発見の為、学校で先生方の学びの場をつくってほしい
- ・ 訪問診療を増やしてほしい
- ・ 会員の高齢化による会の運営にも困難な事が多くなり、今後の活動方針に苦慮しています。会の存続に今考えさせられています。